



△道路行政に關係ある法律  
命令・訓令・通牒等苟く  
も道路行政に當る人々の  
知らざるべからざること  
は凡て本欄に於て紹介す  
△道路行政に關し生じたる  
疑問は本欄に於て回答す  
るを以て會員諸氏は隔意  
なく質問あらん事を望む

### 國道路線變更

#### ◎内務省告示第三百四十五號

國道八號路線中其ノ一部ヲ變更シ大正九年四月内務省告示第  
二十八號八號路線經過地ノ表示中「山梨縣北都留郡上野原  
町」ノ次ニ「山梨縣南都留郡河口村」ヲ加フ

昭和四年十一月二十日

内務大臣 安達謙藏

法令

#### ◎内務省告示第三百四十九號

國道二號路線中其ノ一部ヲ變更シ大正九年四月内務省告示第  
二十八號二號路線經過地ノ表示中「廣島市」ノ次ニ「的場  
町、紙屋町、左官町、觀音町經由」ヲ加フ

昭和四年十一月二十五日

内務大臣 安達謙藏

### 通牒

#### ◎荷車ノ輪帶幅ノ制限ニ關スル件

（昭和四年十一月七日内務省發土第一〇一號）  
（廳府縣長官宛土木局長警保局長依命通牒）

道路取締令施行ノ際現ニ使用シタル荷車ニシテ正規ノ輪帶  
幅ヲ具備セザルモノハ同令附則第二項ノ規定ニ依リ昭和四  
年十二月三十一日迄之ガ使用ヲ許サレ居候處一部地方ニ於  
テハ經濟上其ノ他ノ事由ニ依リ之ガ改造ヲ困難ナリトシ重

一三一

昭和四年第百六十八號

判 決

長野縣上水内郡津和村三十一番地

原告 大内寅之助

テ右期限ノ延期又ハ制限ノ變更方ニ關シ陳情等有之候へ共  
本件ハ命令公布後既ニ相當年月ヲ經過シ正規ノ構造ニ改造  
ヲ了シ又ハ其ノ準備中ノ地方モ亦尠ナカラザル實況ナルヲ  
以テ既定ノ期限ヲ變更セザルコトニ省議決定候條御了知相  
成度

追テ明年ヨリ直ニ同令第十二條ノ規定ヲ適用スルコトヲ  
困難ナリトスル事情アル廳府縣ニ於テハ同令第十五條ノ  
規定ニ依リ一定年限内之ガ適用ヲ緩和スル規程ヲ設クル  
等適當ニ御措置相成度尙右規程ヲ設ケラレタル場合ニハ  
詳細御報告相成度

裁 判 例

◎行政訴訟ヲ許ササル事項

要 旨

町村道管理者ヲシテ其ノ管理ニ屬スル道路ヲ改修セシムルコトヲ  
求ムル行政訴訟ハ道路法其ノ他法律勅令中之レガ提起ヲ許シタル  
規定ナシ

右原告ヨリ長野縣參事會議長長野縣知事千葉了ヲ被告トシテ提起  
シタル昭和四年第一六八號地方行政廳ノ違法處分ニ關スル訴訟狀  
ニ就キ審査裁決スルコト左ノ如シ

主 文

本訴ハ之ヲ却下ス

事實及理由

本訴ノ要旨ハ長野縣上水内郡津和村道第三百十號線ハ原告先代ノ  
墓地ニ通ズル道路ナルトコロ同村篠根熊三郎ハ全部畑ト爲シタル  
ヲ以テ同人ニ對シ該道路ヲ改修スヘキ旨請求シタルモ應セサルニ  
依リ津和村長ニ對シ之ヲ改修セシムヘキ旨屢々請求スルモ是亦應  
セサルヲ以テ更ニ被告ニ訴願シタルニ被告ハ右訴願ヲ却下スル旨  
ノ裁決ヲ爲シタルヲ以テ本訴ニ及ヒタル次第ナリ依テ被告ハ町村  
管理者ヲシテ長野縣上水内郡津和村道第三百十號線ニ相當スル道  
路ヲ改修セシムヘシトノ判決ヲ求ムト謂フニ在レトモ道路法其ノ  
他法律勅令中斯ル事項ニ付行政訴訟ヲ許シタル規定ナキカ故ニ本  
訴ハ受理スヘカラサルモノトス仍テ行政裁判法第二十七條第一項  
ニ依リ主文ノ如ク裁決ス

昭和四年六月二十日第一部裁判長官窪田靜太郎、評定官宿利英治、評定官遠藤源六、評定官福山龜太郎、評定官田口弼一

○訴ノ當事者 (東京地方裁判所第三民事部二(ワ)三九八八號四年十月二十八日言渡)

國道新設ニ因ル土地收用ト補償額不服ノ訴ノ當事者

要旨

東京府ニ於ケル國道新設工事ノ起業者ハ東京府内ニ於ケル國道ノ管理者タル東京府知事ナルヲ以テ該工事ノ爲メ收用セラレタル土地ノ補償金額ニ關スル不服ノ訴ハ起業者タル東京府知事ニ對シテノミ之ヲ提起スルコトヲ得ヘク假リニ國カ右國道ノ新設ニ關スル費用ノ負擔者ナリトスルモ先ツ東京府知事ニ對シ不服ノ訴ヲ提起シ勝訴ノ確定判決ヲ受ケタル後ニ非サレハ國ニ對シ補償金ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得サルモノトス

判決

東京府北豊島郡板橋町大字下板橋七百七十四番地

原告 平岩 榮藏

右訴訟代理人辯護士

竹内義一、樋口恒藏

東京府知事

被告 中川 健藏

被告 國

右代表者東京府知事

被告訴訟代理人辯護士

原 象一郎

右當事者間ノ昭和二年(ワ)第三九八八號收用補償金不足額請求事件ニ付當裁判所ハ左ノ如ク判決ス

主文

東京府收用審査會カ昭和二年八月二日爲シタル昭和二年第十六號裁決中原告ニ對シテ支拂フヘキ損失補償金額八千七百八十四圓二十七錢トアルヲ九千九百五圓十五錢ト變更ス、原告ノ被告東京府知事ニ對スル爾餘ノ請求及被告國ニ對スル請求ヲ棄却ス、訴訟費用ハ之ヲ十分シ其一ヲ被告東京府知事ノ負擔トシ其九ヲ原告ノ負擔トス

事實

原告訴訟代理人ハ請求ノ趣旨トシテ被告東京府知事ニ對シテハ主文第一項掲記ノ東京府收用審査會ノ裁決中原告ニ對シ支拂フヘキ損失補償金額八千七百八十四圓二十七錢トアルヲ二萬四百三圓九十五錢ト變更ストノ判決被告國ニ對シテハ被告國ハ原告ニ對シ金一萬千六百十九圓六十八錢及之ニ對スル昭和二年十一月五日以降完済ニ至ル迄年五分ノ割合ニ依ル金員ヲ支拂フヘシトノ判決並各被告ニ對シ訴訟費用ハ被告等ノ負擔トストノ判決ヲ求メ其請求ノ

原因トシテ被告東京府知事ハ其起業ニ係ル國道第九號線新設事業ノ爲メ大正十四年二月二十六日內閣ノ事業認定ヲ受ケ昭和二年五月二日收用土地細目公告ヲ爲シタル上原告ニ對シ原告所有ノ第一、東京府北豊島郡板橋町大字下板橋宇山之上七百七十三番ノ一、宅地三百五十七坪ノ内四百四十坪一合一〇第二、同所同番ノ一宅地百九十九坪ノ内(一)五十四坪四合八勺(二)四十四坪七合七勺ノ各土地ノ買収ニ付協議ヲ求メタルモ不調ニ終リタリ仍テ被告東京府知事ハ右各土地ノ收用ニ付東京府收用審査會ノ裁決ヲ求メ同審査會ハ昭和二年八月二日右各土地ノ收用ヲ必要ト認メ收用時期ヲ同年八月三十一日トシ損失補償金額ハ右第一及第二ノ(一)ノ各土地ハ一坪ニ付金三十一圓第二ノ(一)ハ一坪ニ付金三十三圓合計七千五百二十九圓十二錢其他地上物件移轉料千二百五十五圓十五錢總計八千七百八十四圓二十七錢ヲ相當トスル旨ノ裁決ヲ爲シ該裁決書ハ同月九日原告ニ送達セラレタリ然レトモ右收用當時ニ於ケル本件土地ノ價格ハ一坪金八十圓ナルヲ以テ其損失補償金額ハ合計一萬九千四百四十八圓八十錢ヲ相當トス仍テ原告ハ被告東京府知事ニ對シ右裁決中ノ損失補償金額總計八千七百八十四圓二十七錢トアルヲ二萬四百三十三圓九十五錢ト變更スル旨ノ判決ヲ求メ尙本件國道新設ニ要スル費用ノ負擔者タル被告國ニ對シテハ右土地ニ對スル損失補償金額一萬九千四百四十八圓八十錢ヨリ前記裁決ニ依ル損失補償金額七千五百二十九圓十二錢ヲ控除シタル殘額一萬千六百

十九圓六十八錢及之ニ對スル本件訴訟送達ノ翌日ヨリ昭和二年十一月五日以降完済ニ至ル迄年五分ノ割合ニ依ル損害金ノ支拂ヲ求ムル爲メ本訴ニ及ヒタリト陳述シ立證トシテ甲第一號證第二號證ノ一乃至第四第三號證ヲ提出シ證人龜井元之進、平田重次郎、石川藤次郎ノ各證言及鑑定人大窪正、太田宣次郎ノ各鑑定ノ結果ヲ採用シタリ

被告等訴訟代理人ハ被告國ニ對スル原告ノ訴ハ之ヲ却下ストノ判決ヲ求メ其理由トシテ本件國道新設工事ノ起業者ハ東京府ニ於ケル國道ノ管理者タル東京府知事ナリ而シテ該事業ノ爲メ收用セラレタル土地ノ補償金額ニ關スル不服ノ訴ハ起業者タル東京府知事ニ對シ之ヲ提起スヘキモノナルコト明ナルヲ以テ被告國カ右國道ノ新設ニ關スル費用ノ負擔者タルコトナ理由トスル原告ノ國ニ對スル本訴ハ不當ニシテ却下ヲ免レザルモノナリト陳述シ、次ニ本案ニ付各被告ニ對スル原告ノ請求ヲ棄却ストノ判決ヲ求メ答辯トシテ被告東京府知事カ原告主張ノ如キ國道新設事業ノ爲メ原告主張ノ如キ原告占有ノ各土地ヲ買収セントシ原告ト協議シタルモ不調ニ終リタルコト被告東京府知事カ右各土地ノ收用ニ付東京府收用審査會ノ裁決ヲ求メ其結果昭和二年八月二日原告主張ノ如キ裁決アリタルコト該裁決書カ同月九日原告ニ送達セラレタルコトハ之ヲ認ムルモ爾餘ノ事實ハ全部否認ス本件各土地ノ收用ニ對スル損失補償金額ハ本件裁決ニ係ル金額ヲ以テ相當トス尙被告國ハ道

路法第三十三條ニ依リ單ニ主トシテ軍事ノ目的ヲ有スル國道其他特ニ主務大臣ノ指定スル國道ノ新設又ハ改築ニ要スル費用ヲ負擔スルニ過キスシテ其ノ他ノ本件國道ノ如キ一般ノ國道ニ關スル費用ヲ負擔スヘキモノニ非ス從テ原告ノ本訴請求ハ到底失當タルヲ免レスト陳述シ立證トシテ鑑定人津本貞藏、生駒晴吉ノ各鑑定ノ結果ヲ採用シ甲號各證ノ成立ヲ認メタリ

### 理 由

先ハ被告東京府知事ニ對スル本訴請求ノ當否ニ付案スルニ同被告カ原告主張ノ如キ國道新設事業ノ爲メ原告所有ノ本件各土地ヲ買收セントシ原告ト協議シタルモ不調ニ終リタルコト被告カ右各土地ノ收用ニ付キ東京府收用審査會ノ裁決ヲ求メ其結果原告主張ノ如キ裁決アリタルコトハ當事者間ニ爭ナキトコロナリ而シテ鑑定人太田宣次郎、生駒晴吉、津本貞藏ノ各鑑定ノ結果及成立ニ爭ナキ甲第二號證ノ一乃至四證人龜井元之進、石川藤次郎ノ各證言ヲ綜合考慮スレハ本件收用當時ニ於ケル第一及第二ノ(一)ノ各土地ノ價格ハ一坪金三十五圓第二ノ(一)ノ土地ノ價格ハ一坪金四十圓ト相當ト認ム鑑定人大窪正ノ鑑定ノ結果ハ之ヲ採用セス又甲第一、第三號證證人平田重次郎ノ證言ニ依テハ此認定ヲ覆スニ足ラス從テ本件土地損失補償金額ハ合計八千六百五十圓ヲ相當トスルヲ以テ本件裁決ノ補償金額總計八千七百八十四圓二十七錢ハ之ヲ九千九百五圓十五錢ト變更スヘキモノトス仍テ原告ノ被告東京府知事

ニ對スル本訴請求ハ此ノ限度ニ於テ正當ナルモ爾餘ハ失當ト認メ之ヲ棄却ス、次ニ被告國ニ對スル本訴ノ當否ニ付按スルニ本訴ハ訴訟要件ニ何等欠缺ナキヲ以テ之ヲ却下スヘキモノニ非ルコト明ナナリ然レトモ本件國道新設工事ノ起業者ハ東京府内ニ於ケル國道ノ管理者タル被告東京府知事ナルコト明ナルヲ以テ該事業ノ爲メ收用セラレタル土地ノ補償金額ニ關スル不服ノ訴ハ起業者タル東京府知事ニ對シテノミ之ヲ提起スルコトヲ得ヘク從テ假リニ原告主張ノ如ク被告國カ右國道ノ新設ニ關スル費用ノ負擔者ナリトスルモ先ツ東京府知事ニ對シ右不服ノ訴ヲ提起シ勝訴ノ確定判決ヲ受ケタル後ニ非レハ國ニ對シ補償金ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得サルモノトス即被告國ニ對スル原告ノ請求ハ既ニ此ノ點ニ於テ其理由ナキコト明白ナレハ爾餘ノ爭點ニ對スル判斷ヲ省略シ之ヲ棄却スヘキモノトス、仍テ訴訟費用ノ負擔ニ付民事訴訟法第八十九條第九十二條本文ヲ適用シ注文ノ如ク判決シタリ

◇××

××◇